

年少だより



ほほえみ



担任 中村 孝枝

今年も残り1ヶ月となりました。子ども達が、年末の雰囲気や生活を感じられるように保育を進めていきたいと思います。

真鶴、湯河原でもインフルエンザ流行の声を聞くようになってきました。予防のために、しっかりと手洗い・うがいができるようになげかけていきます。

11月の保育より

身支度できるかな？



幼稚園生活にも慣れ、良い意味でも、悪い意味でも、自分を出せるようになってきました。甘えも出てきて今まで自分でやっていたことでも、教師に依存する姿もみられます。特に身支度では、自分でできるのにゆっくりのんびり行動する子が気になります。自分のことは自分です。次の活動に興味をもたせながら、朝からはりきって行動ができるように励ましてしていきたいと思っています。

自然は学びがいっぱい

荒井城址公園でどんぐりをたくさん拾ってきました。数日経つとどんぐりの中からどんぐりころころむし(ゾウムシの幼虫)が出てきました。カブトムシの幼虫を育てているつばめ組のみんなは「かわいい」と愛でています。「エサは何か」と図鑑を持ってくる姿もあります。ゾウムシへの変身を楽しみにしている毎日です。

園長先生がカブトムシの幼虫のマット替えを手伝ってくださいました。時々側面に顔を出す幼虫を気にしている子が多いですが、飼育箱をお掃除するのは3ヶ月ぶりでした。開けてびっくり!カブトムシのフンが飼育箱の5分の3程ありました。思いの外大きく育てている幼虫7匹に心躍らせているつばめ組でした。

また、さつまいものつるを「うんとこしょ、どっこいしょ」とぬいて大きなおいもを掘った喜びが、食することで更に大きな喜びに繋がっています。見て、触れて、味わって…五感を刺激しながら自然を楽しんでいます!!

けんかも学びのチャンス

子ども達の活動への意欲が増し積極的に行動がでてきました。しかし、やりたいものが重なると一つの物を取り合いけんかが始まります。トラブルになると強い口調で怒り、自分の主張だけ通そうとする姿も見られます。トラブルが起きたときには、双方の気持ちを代弁しながら、相手の気持ちに気づけるようにしています。ただ単に謝ればよいというわけではなく、自分の気持ちや相手の気持ちにしっかりと向き合えるように、解決を急がず、二人がお互いを知り、良い関わりになれるように支えていきます。

12月のねらい

○戸外で保育者や友達と体を動かして簡単なルールのある遊びを楽しむ。

○いろいろな表現遊びを楽しむ。

12月の保育にむけて

ルールのある遊びを楽しもう

これから、どんどん寒くなり、戸外へ出ることを嫌がる子も出てくると思います。しかし、楽しい遊びがあると戸外でも元気に遊べます。1日の流れの静と動のバランスを考えて、積極的な誘いかけをし、戸外での遊びの楽しさを知らせていきます。大勢の友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように、鬼ごっこやボール遊びなどルールのある遊びを投げかけ、新しい遊びに挑戦しながら、友達関係が広がるようにしていきたいと思っています。

友達と表現を楽しむ

つばめ組はごっこ遊びが大好き。子ども達は、見たこと、感じたことをさまざまな方法で表現することを楽しんでいます。楽器にふれたり歌を歌ったりしながら、いろいろな表現遊びを楽しんでいきたいと思っています。

